

### 保育所実習 褒める力学

精華町・宮川 卓也(大学生・19)

私は約1カ月間、保育所実習をした。保育所に携う子どもは元氣よくかけこをする。もしかけこで転ぶ子がいたならば、一緒に走っていた子どもたちは転んだ子どもに手を差し伸べ、周りの子どもは応援する。そして保育士は転んで

も走りきった子ども、手を差し伸べた子ども、周りで応援していた子どもたちを分け隔てなく褒める。またある時、子どもがままごのいすを積み上げて遊ぶ。すると保育士は「これは小さい子どもがままごとで座るいすだよ」と声を

掛けた。このように私の実習先である保育所の保育士は子どもを褒め、間違ったことは吐るのではなく何が良くなかったかを子どもが気づけるように言葉掛けをする。

そして保育士は実習生である私のことでも気にかかけ、褒めてくれる。学校やバイトでは年を重ねるたび褒められることよりも怒られることが多くなった。褒められることがとても新鮮に感じた。ふと保育所のような教育を小学校もその先も続けていけたら、とてもいい大人になるのではなかならと考えた。褒めて伸ばすことが、新しい考え方になったのはいつからだろうか。

※無断転載不可